

令和2年度 串間市立有明小学校 学校関係者評価書

評価項目	評価項目	具体的な方策・手立て	学校の自己評価		学校関係者評価委員の意見	評価
			結果の考察・分析及び改善策等	自己評価 指標別 総合		
1 かしこい子	① 学習内容の定着・学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業による影響を鑑み、身に付けさせるべき学習内容を整理し、児童の実態に即した授業づくりに努める。 ○ 全職員でスキルタイムの指導に取り組み、漢字や計算などの力を付ける。 ○ 「家庭学習の手引」により、家庭学習の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍において授業時数が減った中、指導内容を精選し、今年度中に今年度の学習内容が全て終了するように工夫した授業を行っている。 ○ 毎週木曜日に表現力向上の作文スキルを全校一斉に取り組んでいる。しかし月曜日のスキルタイムの徹底がまだできていない。一斉にできる内容を検討している。 ○ 家庭学習の習慣化はかなりできている。 	4	4	4
	② 表現力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現力向上についての職員研修を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人1授業と相互参観による授業改善 ・ 県から示された授業改善のポイントを意識した指導の実践 ○ 自分の考えを書いたり発表したりできる場を授業や集会等に設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研究による相互授業参観と串間市教育委員会の定期訪問による指導を受け、児童それぞれの考えを交流させ、議論させるよう授業改善が進んでいる。 ○ 授業で書いたり発表したりする機会を多く設け、集会でも感想を述べる機会を多く設けている。 	4		
	③ 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読んだ本を記録する読書通帳を活用し児童の意欲向上を図る。 ○ 図書委員会の働きかけによる読書推進を図る。(読書かるたの取組等) ○ 図書司書によるブックトークや放送による図書の紹介等を行い、興味をもたせる。また、古書の廃棄と図書の整理・補充を行い、環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書通帳の活用推進を図り、意欲向上に努めた。(年間総貸出冊数：R1…2380冊、R2…2484冊<2月12日現在>) ○ 読書かるたの取組も現在進んでいる。 ○ 計画的に図書司書による図書紹介(ブックトーク)を行った。昨年度購入させていただいた図書管理ソフト(スクールプロ)を活用し、環境整備が効率的に行えている。 	4		
2 やさしい子	① 基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「有明小のあたりまえ」で指導内容の共通理解を図り、現場指導を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。 ○ あいさつ等の率先垂範を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの学級も同じように指導することを全職員が心がけ、基本的な生活習慣の定着を図っている。 ○ 毎朝のあいさつ運動により、率先垂範の実践ができている。 	4	4	4
	② 心の教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳や学級活動を通して、ソーシャルスキルトレーニングによる社会性の育成を図る。 ○ 全職員でよい行いを奨励することで自己肯定感をもたせ、人に優しく接する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルスキルトレーニングや自己肯定感の獲得については現在も指導中である。 ○ 家庭的な雰囲気で見守りながら児童に声をかけ、よい行いを称賛している。 	5		
3 たくましい子	① 健康の保持増進に関する理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童一人一人が自分の健康状況を知り、健康な身体づくりに関心を持ち、学校や家庭での生活を改善しようとする態度を育てる。 ○ 立腰についての掲示や放送により、児童の意識を高め、良い姿勢で学習しようとする態度を育てる。 ○ 養護教諭を中心に、授業中や給食時の姿勢について観察・指導を行う。 ○ 「生活リズムチェック」を毎月行い、定期的に自分の生活習慣を見直させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立腰に関わる姿勢指導を担当及び養護教諭を中心に行った。保健だより等でも家庭での姿勢指導協力について呼びかけを行っている。 ○ 健康な身体づくりの一環として、養護教諭による肥満解消の取組を実施した。保護者の協力もあり、児童も意欲的に取り組んだ結果、肥満解消がかなり進んだ。 ○ 定期的に「生活リズムチェック」を行い、児童・保護者の健康に関する意識を高めることができている。 	4	4	4
	② 「新しい生活様式」の理解と実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手洗いや手指消毒・マスク着用・ソーシャルディスタンスの意識化など新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる取組を日常的なものにし、自分の健康は自分で守るよう継続的な実践を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特に手洗いや手指消毒は日常的な取組になってきた。しかしだんだん慣れも出てきているので、特にソーシャルディスタンスの定着を図るよう指導を続けている。 	5		
4 地域・家庭との連携	① 家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノーメディアデー、保健だより、学級通信等を通して、家庭での望ましい生活リズム、家庭学習、むし歯の治療など、児童と保護者の意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 呼びかけ・面談等手を尽くしているが、すべての保護者の意識が高まるまでには至っていない。 	3	3	4
	② 有明校区コミュニティ協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有明校区コミュニティ協議会との連携を一層密にして、地域と連携した活動の充実を図り、地域とともに発展する学校づくりをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍において、会議の開催ができず、文書による議決を行った。その後自治会長及び民生児童委員を中心とする協力により、連携が実現しつつある。 	4		